

西条市 田滝集落

～日本一の「あたご柿」を核とした^{むら}農村づくり～

●活動内容

①取り組み概要

- ・日本一の「あたご柿」の産地である西条市周桑地区を代表する柿に特化した集落のむらづくり活動を行っている。
- ・昭和初期から柿の集団栽培を始め、平成7年に集落の農家74戸で「農事組合法人 田滝青果出荷組合」を設立。
- ・平成20年、マークを商標登録し、柿のブランド化に成功。積極的な消費者交流、販売促進活動も展開。
- ・生活研究組織「エスペランスグループ」は、営業許可を取得して柿羊羹や柿の葉茶等の加工品を製造・販売。
- ・小学生を中心に食農教育をはじめ、祭りや無形文化財の伝承活動など地域ぐるみのコミュニティ活動が活発。
- ・住民の話し合いをもとに、校区外からの小学生受け入れのほか若者の呼び戻し、環境保全活動、鳥獣害対策など様々な集落活動を実践。
- ・平成24年度「豊かなむらづくり全国表彰」農林水産大臣賞受賞。

②成功のポイント

- ・柿を中心に米、野菜の複合経営確立による農家経営の安定
- ・長い集落の歴史の中で培われた地域の絆、共助の精神
- ・自治会主催の「明日の田滝を考えるシンポジウム（H16～H24年に14回）」を開催し、自分たちで課題解決

●生産者等情報

自治会長 高山 司

●ホームページリンク

ホームページなし



都会の消費者への商品PRと干し柿づくり体験



田滝の農産物をPRする収穫祭



明日の田滝を考えるシンポジウム



昭和から続く学校農園